※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	アクティブスポーツ　2024「総合版」　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯にわたる心身の健康の保持増進について学びます。
私たちが暮らす社会はとても豊かですが、それでも、生活習慣病や薬物乱用、また心の問題など、健康にかかわる問題は少なくありません。これらを取り上げ、自分自身や集団の健康を保持増進するために必要な知識や技術について学びましょう。

２　学習の到達目標

合理的、計画的な課題解決に向けた学習過程を通して、保健に関する見方・考え方を働かせ、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

1. 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、必要な技能を身につける。
2. 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考・判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
3. 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・健康や安全の意義を理解している。 ・生活環境や社会環境における健康課題を理解し、その解決に向けて必要な知識や能力を身につけている。	・生活環境や社会環境における健康課題を発見し、その解決のための効果的な方法を考えている。 ・自己や他者が考えたことを他者に伝えている。	・健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代社会と健康、安全な社会生活	1-1、日本における健康課題の変遷 1-2、健康の考え方と成り立ち 1-3、ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 2-4、応急手当の意義と救急医療体制 2-5、心肺蘇生法 2-6、日常的な応急手当	a:各単元の内容を理解し、必要な知識や能力が身についているか。 b:自身の考えを整理し、他者に伝えているか。 c:学習活動に積極的に取り組んでいるか。	定期考査 ノート 小テスト	定期考査 ノート 小テスト	授業観察 ノート ワークシート 実習態度
2学期		1-4、健康に関する意思決定・行動選択 1-5、現代における感染症の問題 1-6、感染症の予防 1-7、性感染症・エイズとその予防 1-8、生活習慣病の予防と回復 1-9、身体活動・運動と健康 1-10、食事と健康 1-11、休養・睡眠と健康	a:各単元の内容を理解し、必要な知識や能力が身についているか。 b:自身の考えを整理し、他者に伝えているか。 c:学習活動に積極的に取り組んでいるか。	定期考査 ノート 小テスト	定期考査 ノート 小テスト	授業観察 ノート ワークシート
3学期		1-12、がんの予防と回復 1-13、喫煙と健康 1-14、飲酒と健康 1-15、薬物乱用と健康 1-16、精神疾患の特徴 1-17、精神疾患への対応	a:各単元の内容を理解し、必要な知識や能力が身についているか。 b:自身の考えを整理し、他者に伝えているか。 c:学習活動に積極的に取り組んでいるか。	定期考査 ノート 小テスト	定期考査 ノート 小テスト	授業観察 ノート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度